

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「コロナ禍による困窮世帯の子どもに対する食料支援で福祉・健康の増進を図る」事業

食品ロスを削減し、生活困窮世帯を支援する一石二鳥のボランティア活動に取り組む

食品の品質には問題がなく、安全に食べられるのに、包装の破損や印字ミス、過剰在庫、賞味期限が近いなどの理由で、通常の流通、販売が困難な食品や食材を企業などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯などに無償で提供するボランティア活動に取り組み、支援を拡充した。



神奈川県横須賀市を中心に食品の無料配布会を実施

生活支援や食品ロス削減を通じて地域社会の福祉増進に寄与する

神奈川県横須賀市に拠点を置くNPO法人「神奈川フードバンク・プラス」は、2016年に任意団体として設立され、翌年にNPO法人として認可された。活動の基本は、社会の表面からは見えにくい、苦しい生活をされている方々への支援であり、生活困窮者、一人暮らし高齢者、一人親家庭、子ども食堂などに対して、他のフードバンク団体などと協力しながら、食品の提供および生活支援に関する事業を行い、食品ロス削減を通じて地域社会の福祉増進に寄与することを目的としている。

連携している団体・機関には、横須賀市生活福祉課、反貧困ネットワーク神奈川、かながわ生活困窮者自立支

援ネットワーク、フードバンクかながわ、フードバンク二本松、さらに複数の食品事業者などがある。また、地域で福祉活動をする団体・組織への食品支援先としては、子ども食堂、横須賀市母子福祉会、よこすかひとり親サポーターズ・ひまわりなどがある。

フードバンクとは、食べるのには問題がないにもかかわらず、ラベルや包装の損傷など様々な理由で廃棄される食品や家庭で眠っている食品を企業や個人などから提供してもらい、それを必要としている方々に渡す活動である。日本では、そのように廃棄される食品の量は約800万トンにも迫るほどある一方で、毎日の食べものを十分に賄えない人々がたくさんいる。これらの食品を再び活かすことで、食品ロス削減にも役立てたいという思いで活動している。

こうした活動は、国連が定めた「SDGs(持続可能な開発目標)」に掲げられている第1項「貧困をなくそう」、第12項「つくる責任 つかう責任」の趣旨にも該当するものである。

生活困窮世帯の子どもたちへの食品支援を助成で拡充

具体的な公式データはないものの、今回の新型コロナ禍による失業や休業によって収入減に追い込まれ、困窮している世帯(一般家庭、一人親家庭、一人暮らし高齢者など)は数多くいると言われている。そうした人々に対して、食品ロス削減活動と合わせ、食品の無料配布会を実施した。クチコミ、ホームページ、フェイスブックなどのSNSを活用して、フードバンクの周知と理解を深めてもらうための方策を取り、対象となる世帯の発掘を図りながら、原則毎月一回、配布を行っている。

たとえば2023年2月には、23日、26日の2日間(10~15

時)、横須賀市三春町5丁目にある神奈川フードバンク・プラス横須賀センターで個人配布会を行った。当日は、徒歩、自転車、自家用車などでやって来た人たち(2日間で合計85名)に対して、ボランティアスタッフの協力で15種類の食品を配布した。

また、POSCの助成を受けたことで、特に生活困窮世帯の子どもたちに対する食品支援を以下のように拡充することができた。①ひとり親家庭:3団体のほか、85世帯の子ども105名に毎月1回、1世帯あたり5kg、②子ども食堂:8団体、子ども350名に対して、毎月1回、1人あたり4kg、③個人配布会:75世帯、子ども85名に対して、毎月1回、1世帯あたり6kg。

とある配布会では、食品の支援依頼に来られた子ども3人を抱えるシングルマザーから生活状況を聞き、横須賀市の生活福祉課を紹介したことで、民間アパートから市営アパートに移動し、生活扶養費も支給され、安定した生活ができるようになったケースもあった。



賞味期限切れが近い食品を提供してもらってフードドライブも定期的実施



助成団体:特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス <http://foodbankplus-kanagawa.org>



当初目標の1.5倍の世帯の子どもたちに食品支援ができました

多大な助成金をいただき、食品のための仮倉庫も準備できたことで、今後、支援先が増え、協力してくれる企業、団体から提供される食品が増えても、十分な在庫を管理することが可能になりました。今後も事業の拡充を図って参りますので、ご協力をお願い致します。今回は、本当にありがとうございました。

特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス
理事長 山田 洋さん